

2018年4月2日

朝礼の話 (2018年4月)

皆さんお早うございます。今年の桜の開花は、例年になく早く京都市内の桜も先週末までに満開となり、市内各地はどこも桜を楽しむ人たちが大変なにぎわいとなりました。昨年は例年に比べ開花が遅くなり、満開の時期が市内の小・中学校の入学式の時期と重なり、校庭を満開の桜が埋め一段と華やかな入学式となりましたが、今年の入学式には、桜はほとんど散っていそうです。毎日忙しい時期ではありますが、我々もひと時桜を楽しみながら、季節の移ろいを感じ取ってほしいと思います。

4月は、新学期、新年度のスタートの時期にあたります。方々で入学式、入社式が行われます。当社も産業設備部に配属される瀬戸口君を本日より新しい仲間として迎えました。瀬戸口君にとって当社での会社生活が、価値ある、素晴らしいものとなるように祈っています。この時期は、新入社員のみならず全ての人たちにとって、気分を一新し、新たな気持ちで仕事にとりかかる節目の時と考えます。私たちはともすれば日々の忙しさに紛れ、初心の清新な気持ちと高みを目指す強い志を忘れがちです。全ての人が初心に帰り、新たな抱負と気概を持ってそれぞれの仕事に取り組んでいただきたいと思います。

会社は、単にその日の糧を得るためだけの働き場所ではありません。会社という場を通して、社会と関わり、社会人としての自己を実現していく重要な舞台といえます。仕事を通じて自己研鑽に励み、自らの素質、能力を磨き、自らが成長していく大事な場ともいえます。社内外を問わず仕事を通じて関わる回りの人たちとお互いによく理解しあい、切磋琢磨しあい、助け合うことで自身の研鑽と成長につなげることができる筈です。常に厳しく自らを律し、研鑽に励むことで廻りの人たちにもよい影響を与えます。先輩の人たちは、新人、若手に範を示してください。人に教えることにより自らも学ぶことがたくさんあります。時に厳しく叱ることも必要ですが、決して温かい気持ちを失くしてはなりません。後輩、若手を教え、育てることで自らも成長していくものです。後輩、若手の成長は、会社にとって、先輩であるみなさんにとって間違いなくプラスとなります。その成長を温かく見守り、支えることで、会社全体でその成長を喜び合えるような職場でありたいと考えています。

今日から新年度に入り、各部店ともに新たな目標と課題を掲げて新しい期に臨んでいることと思います。内外の激しい経済環境の変化により、当社に求められる機能も少しずつ変化して来ています。今一度初心に帰り、足元を見つめ直し、お客さま・市場の声を謙虚に聞き、着実に手堅く、しかし視線は高く上げてください。部店全員が作り上げた今期の目標、課題の達成、解決に向けて、全員一丸となって頑張っていきましょう。 以上